

見学会のご案内 (2025 年度-第4回)

狩野川放水路完成 60 年、放水路の役割とその影響

- 個人では見学できない放水路トンネルを見学し、役割について再考する
- 放水路による沿岸域への生態系への影響についての最新研究を知る

災害対策の歴史を是非ご自身の目でご覧ください！

参加者にはCPD行事受講証を発行いたします。CPD 時間:2.0H(会員)

日 時 2025 年 11 月 7 日(金)

見学先 静岡大学東部サテライト および 狩野川放水路長岡トンネル

参加費 会員 2,000円 (当日徴収します)、交流会 5,500 円

プログラム

12:30 JR 三島駅北口(新幹線側) 集合

13:20 静岡大学東部サテライト 到着

講演「狩野川放水路がもたらす河川流域と沿岸域の生物に及ぼす影響」

講師：静岡大学教授 塚越 哲 氏

15:00 狩野川資料館 到着

狩野川放水路長岡トンネルおよび狩野川資料館の見学

16:30 三島駅南口解散予定

16:30 交流会「四季酒菜 風土 芝本町店」

<https://fudo-shibahoncho.gorp.jp/>

(狩野川資料館～長岡トンネル間は徒歩、その他の移動はバスとなります)

お申し込み

メールにて受付します。⇒ ipej-shizu@ipej-shizu.sakura.ne.jp

申込時に氏名、勤務先、会員・賛助会員、メールアドレス、携帯番号、交流会参加有無を記入願います。

申込締切:10 月 30 日(木)

●注意事項

1. 放水路トンネルは足元が濡れているため、滑りにくく濡れても良い靴でご参加ください。(長靴推奨)
2. 資料館から長岡トンネルまで往復約 1.5km の徒歩移動があります。
3. 雨天時は長岡トンネル見学を中止し、資料館内でビデオ見学となります。
4. 申込者が26名になり次第締め切ります。

ご不明な点は下記メールアドレスへお問い合わせ下さい

ipej-shizu@ipej-shizu.sakura.ne.jp

主 催:公益社団法人 日本技術士会 中部本部 静岡県支部



狩野川放水路について

狩野川放水路は、伊豆の国市から駿河湾に至る放水路で、狩野川の治水を目的として建設されました。狩野川流域は昔から洪水に悩まされていた地域です。1948 年のアイオン台風の大出水を契機として狩野川放水路が計画・着工されました。建設中の 1958 年には狩野川台風が流域を襲い、多数の死者・行方不明者を出す甚大な被害が生じました。狩野川台風の影響を踏まえて計画の大幅変更が加えられ 1965 年に完成しました。全長約 3km で、国内でも代表的な放水路の一つです。以後、台風や豪雨の際には洪水被害を軽減し、伊豆地域の安全と発展を支える役割を果たしています。

講師紹介

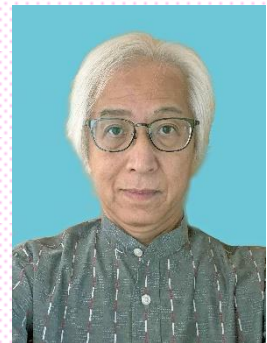
塚越 哲 静岡大学教授

【略歴】

1990 年 東京大学総合研究博物館・助手
1999 年 静岡大学理学部・助教授
2010 年 静岡大学理学部・教授
2018-2021 年 日本動物分類学会・会長
2020-2021 年 日本分類学会連合・代表

【受賞】

1999 年 第8回中山科学振興財団中山賞奨励賞
2004 年 日本古生物学会学術賞
2013 年 Award of 15th International Meiofauna Conference
2017 年 第 14 回日本動物分類学会賞



【講演内容の概要】

2020 年度から5年間にわたって国土交通省の支援を受けて、「狩野川放水路」(1965 年完成)が流域および沿岸域にどのような影響を与えたかについての共同プロジェクトが行われた。このプロジェクトを通して、複数の研究機関に所属する研究者らによって、どのような知見が得られたかについて、話題提供させていただく。